



実効為替レートを自分で作成してみる

も

はや外貨といえども米ドルだけを想定していい時代ではない。下のグラフを見れば容易にわかる。これは米ドルを軸に主要通貨の動きをたどったもので、主要通貨の対米ドルレートの推移である。このグラフに示したとおり過去数年、米ドルに対して下げたのは円だけで、その他の通貨は軒並み上昇している。

複数の通貨に対して円が相対的にどのような位置にあるのかを示すのに有効な指標が実効為替レート。これは貿易相手国との貿易金額で為替レートを加重することによって求められる合成為替レートだ。つまり実態経済(貿易)面から円の総合的な通貨価値の変化がどの程度、日本経済に対して影響を持つか、という観点から算出される。

よく知られているのが日本銀行が算出する実効為替レート。これは、日本の貿易相手国、地域のうち全体の1%以上のシェアを持つ15カ国の通

貨を、日本からそれぞれの国に対する輸出金額で加重して計算された実効為替レートだ。円の総合的な通貨価値を知ることができるが、外貨建て資産に投資する立場に立てばこれはちょっと使いづらい。なぜなら、貿易額と同じシェアで各国通貨に投資しているわけではないのだから。

日銀の実効為替レート(各国の物価を考慮しない名目ベース)では米ドルの加重(シェア)は25・88%、中国が15・4%、ユーロ圏12・44%、韓国9.0%、台湾8.4%。これはわれわれの外貨投資のシェアとは相当異なる。であれば、自分が保有している外貨のシェアに応じたオリジナル実効為替レートを作ればいい。

原理は簡単。わかりやすいように「グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)」「(国際投信)だけを保有している場合を想定する。このファンドの直近の通貨別シェアはユーロが45%、米ドルが25%、英ポンドが10%など。

であれば、このシェアに応じた実効為替レートを自分で作成すればいい。そうすれば、このファンドを保有していることで、どの程度の実効為替損益を負っているかを任意の時点で把握することができる。ポイントは購入時点での組み入れ通貨の対円相場を100とする。これによってその後の為替レートの動きを指数化すればいい。

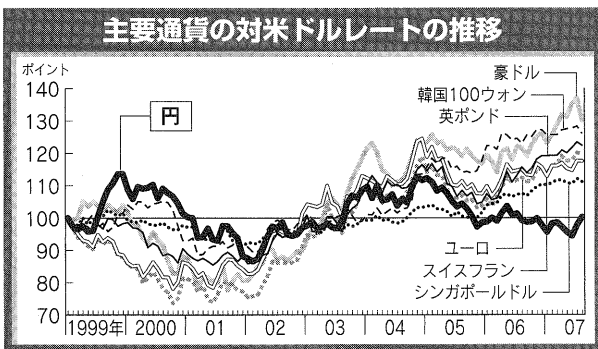
たとえば、昨年12月末に購入したとしよう。表1はとりあえず上位3位の通貨の毎月末時のTTMレート(三菱東京UFJ銀行が毎日発表する対顧客向け売買レートの仲値)を記した。

表2はそれを指数化したもの(2006年12月末=100)。

表3は表2のそれぞれの数値に加重をかけたものだ。通貨別シェアに応じてユーロに対しては45%、米ドルには25%の加重をかける。ある時点において、これらの加重値

を合計したものが「実効為替レート」だ。これで見ると、3月6日までに為替益だけで5%稼いでいたが、その後7月13日には2.5%程度の差損を被っていたことがわかる。もちろん以上は概算で、もっと精密に行うなら、その他の通貨もカウンタすればいい。

頻繁にかつ大幅に通貨別のシェアが変わるファンドだと技術



自分で実効為替レートを作ってみる(グローバル・ソブリン・オープンの場合)

表1: 主要通貨の対円相場 (TTM基準)

表2: 表1の為替レートを指数化する

表3: 指数化された為替レートに加重をかける

時期	表1: 主要通貨の対円相場 (TTM基準)			表2: 表1の為替レートを指数化する				表3: 指数化された為替レートに加重をかける				合計
	米ドル	ユーロ	英ポンド	米ドル	ユーロ	英ポンド	その他	米ドル	ユーロ	英ポンド	その他	
2006.12	119.11	156.50	233.66	100.0	100.0	100.0	100.0	25.0	45.0	10.0	20.0	100.0
2007.01	121.73	157.74	238.90	102.2	100.8	102.2	100.0	25.5	45.4	10.2	20.0	101.1
2007.02	118.44	156.72	232.52	99.4	100.1	99.5	100.0	24.9	45.1	10.0	20.0	99.9
2007.03.06	122.71	169.06	248.98	103.0	108.0	106.6	100.0	25.8	48.6	10.7	20.0	105.0
2007.03	118.05	157.33	231.73	99.1	100.5	99.2	100.0	24.8	45.2	9.9	20.0	99.9
2007.04	119.80	162.90	238.46	100.6	104.1	102.1	100.0	25.1	46.8	10.2	20.0	102.2
2007.05	121.69	163.43	240.51	102.2	104.4	102.9	100.0	25.5	47.0	10.3	20.0	102.8
2007.06	123.26	165.64	246.88	103.5	105.8	105.7	100.0	25.9	47.6	10.6	20.0	104.1
2007.07.13	115.86	151.74	222.48	97.3	97.0	95.2	100.0	24.3	43.6	9.5	20.0	97.5
2007.07	118.94	163.08	241.67	99.9	104.2	103.4	100.0	25.0	46.9	10.3	20.0	102.2
2007.08	116.07	158.57	233.75	97.4	101.3	100.0	100.0	24.4	45.6	10.0	20.0	100.0
2007.09	115.03	159.56	228.96	96.6	102.0	98.0	100.0	24.1	45.9	9.8	20.0	99.8

注) 2007年9月は18日の数値、それ以外は月末。その他通貨は変動しないと想定

的に困難であるが、自分の外貨ポジションの大枠が把握できている場合には、こんな試算も楽しいと思う。